

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市小川特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

- (1) 事業実施期間：2023年4月1日～2024年3月31日
(2) 開所日及び開所時間帯：重度の要介護者が居住する住まいとして年中無休の運営を行っている。
(3) 利用定員 90名

2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：特別養護老人ホーム）
小川圏域に生活するすべての人が、認知症や疾病等により身体が不自由になっても、家族や地域とのつながりを保ちながら、地域の一員として誇りをもって自立した生活を送れるよう、指定管理調書に基づいた支援に取り組んでいる。
2019年度から、「緊急ショートステイ事業」及び「身元不明高齢者緊急一時保護事業」に参画し、行き場のない高齢者の受け皿としての役割を担っている。
地域貢献の取組として、地域の男性高齢者主体の団体「珈琲男団」にスペースを提供し、月1回、「珈琲にこだわる男のサロン」を実施、また、上京区民まちづくり活動助成事業である「置きベンプロジェクト」に参画し、施設前にベンチを設置し、地域住民の交流機会確保に努めた。
- (2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。）
企画提案業務
(1) 地域介護予防推進センター
・高齢者の皆様が、介護を必要とせずいつまでも元気に暮らせるよう、地域における介護予防の拠点として、地域の身近な会場で専門のスタッフの指導による介護予防プログラムを提供するほか、介護予防に関する普及啓発や、地域での自主的な介護予防に関する活動の支援を行っている。
(2) 訪問型サービス（訪問介護、総合事業）、障害福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護）
・要支援または要介護状態の方のご自宅に訪問介護員が訪問して、入浴、排せつ、食事等の「身体介護」や買物、洗濯、掃除等の「生活援助」を行っている。
- 自主事業の実施状況は、以下の通り。
(1) シェアサイクルの設置（地域貢献）
・令和3年10月に「京都市自転車総合計画2025」を策定され、国におけるシェアサイクルの取組も踏まえて、公共交通を補完し、市民等の移動の利便性の向上を図る手段としてシェアサイクルのポートを設置する。

3 サービス提供状況

- 管理者：1名、医師：4名、介護支援専門員：1名、看護師：7名、生活相談員：3名、機能訓練指導員：1名、
管理栄養士：2名、ケアワーカー：41名
いずれも短期入所生活介護の職員数も含む。
- 再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）
・給食調理業務：株式会社LEOCへ委託（入札により決定）。

4 市内中小企業への発注に対する考え方

- 市内中小企業に委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定を行っている。
委託への考え方
(1) 業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
(2) 法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
(3) 業務内容は簡易であるが、行う人材を集める事が容易ではない場合、その業務を行える人材を集める事に特化した業者がある場合。また備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用していく。

5 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1)利用延べ人数

- ①令和5年度実績値

31,255	人
--------	---
- ②令和6年度目標値

31,207	人
--------	---

(2)稼働率

- ①令和5年度実績値

94.9	%
------	---
- ②令和6年度目標値

95	%
----	---

(3) 収支実績

ア 本来業務（特別養護老人ホーム）

介護保険収入	347,529,803
利用料収入	55,020,790
委託料収入	47,300
補助金収入	12,692,623
寄付金収入	0
雑収入	161,697
その他	1,418,055
収入計	416,870,268

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	256,435,750
事業費	71,703,310
委託費	36,046,384
小額修繕費	2,608,287
その他	22,468,309
支出計	389,262,040

イ 企画提案業務1（地域介護予防推進センター） 令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

介護保険収入	0
利用料収入	0
委託料収入	30,193,250
補助金収入	49,900
雑収入	33,420
その他	117,104
収入計	30,393,674

人件費	12,035,046
事業費	3,950
委託費	2,152,219
その他	1,832,238
支出計	16,023,453

ウ 企画提案業務2（訪問型サービス、障害福祉サービス） 令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

介護保険収入	162,861,880
利用料収入	18,345,310
委託料収入	12,000
補助金収入	3,870,093
雑収入	8,224
その他	563,924
障害福祉サービス報酬	50,305,639
収入計	235,967,070

人件費	157,427,867
事業費	0
委託費	38,182
その他	41,016,763
支出計	198,482,812

オ 令和5年度自主事業（シェアサイクルの設置）に関する収支状況（単位：円）

収入	0
支出	66,475
収支状況	(66,475)

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

・令和5年11月実施
・配布枚数 90枚 返答枚数 50枚 回収率 55.5%

(2) 利用者満足度把握の結果

	とても良い	良い	普通	悪い	わからない
・面会について	20人	20人	3人	2人	5人
・家族への連絡	33人	37人	20人	0人	0人
・接遇	50人	24人	16人	0人	0人

(3) 意見等への主な対応状況

・いただいたご意見のうち、要改善事項は施設内会議にて対策の検討、実施を行っている。
・アンケート結果報については施設内に掲示するとともに、ご利用者（ご家族）に送付している。

7 その他特記事項

(1)

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

・認知症・虐待による緊急入所などコロナ禍でも必要な役割が果たせるように引き続き取り組んだ。
・新型コロナに関しては、2度のクラスターが発生したが、BCPマニュアルに沿って迅速に対応を実施、最小限の感染者にとどめることが出来た。ご家族様等の面会方法についても段階的に制限を緩和し、各種レクリエーション等についても出来る限り実施した。
・また、小川学区の夏祭りや運動会へのご入所者の参加を再開したり、下肢筋力の維持・向上に向けて外部の訪問マッサージの導入に取り組んだ。
・障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についても差別的な取扱いにならないように意思決定支援などの情報も得ながら取り組んだ。
・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を併設しており地域の高齢や福祉に関する課題について取り組みをしやすい施設である。ショートステイを緊急的に利用していただくことも多く（短期入所生活介護緊急利用支援事業委託施設）、地域の高齢者福祉の拠点として活動できるように引き続き取り組んでいきたい。

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市小川特別養護老人ホーム短期入所施設

1 施設の管理運営

- (1) 事業実施期間：2023年4月1日～2024年3月31日
- (2) 開所日及び開所時間帯：年中無休の運営を行っている。
- (3) 利用定員 10名

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：老人短期入所施設）
小川圏域に生活するすべての人が、認知症や疾病等により身体が不自由になっても、家族や地域とのつながりを保ちながら、地域の一員として誇りをもって自立した生活を送れるよう、指定管理調書に基づいた支援に取り組んでいる。
2019年度から、「緊急ショートステイ事」及び「身元不明高齢者緊急一時保護事業」に参画し、行き場のない高齢者の受け皿としての役割を担っている。
地域貢献の取組として、地域の男性高齢者主体の団体「珈琲男団」にスペースを提供し、月1回、「珈琲にこだわる男のサロン」を実施、また、上京区民まちづくり活動助成事業である「置きベンプロジェクト」に参画し、施設前にベンチを設置し、地域住民の交流機会確保に努めた。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。）
企画提案業務

- (1) 地域介護予防推進センター
 - ・高齢者の皆様が、介護を必要とせずいつまでも元気に暮らせるよう、地域における介護予防の拠点として、地域の身近な会場で専門のスタッフの指導による介護予防プログラムを提供するほか、介護予防に関する普及啓発や、地域での自主的な介護予防に関する活動の支援を行っている。
- (2) 訪問型サービス（訪問介護、総合事業）、障害福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護）
 - ・要支援または要介護状態の方のご自宅に訪問介護員が訪問して、入浴、排せつ、食事等の「身体介護」や買物、洗濯、掃除等の「生活援助」を行っている。

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

管理者：1名、医師：4名、介護支援専門員：1名、看護師：7名、生活相談員：3名、機能訓練指導員：1名、
管理栄養士：2名、ケアワーカー：41名
いずれも特別養護老人ホームの職員数も含む。

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

- ・給食調理業務：株式会社LEOCへ委託（入札により決定）。

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定を行っている。
委託への考え方
(1) 業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
(2) 法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
(3) 業務内容は簡易であるが、行う人材を集める事が容易ではない場合、その業務を行える人材を集める事に特化した業者がある場合。また備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用していく。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)利用延べ人数

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人短期入所施設）

介護保険収入	46,090,281
利用料収入	8,013,477
委託料収入	0
補助金収入	1,011,510
寄付金収入	0
雑収入	15,210
その他	66,560
収入計	55,197,038

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	2,758,671
事業費	9,967,059
委託費	6,922,318
小額修繕費	0
その他	27,181,891
支出計	46,829,939

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

--

(2) 利用者満足度把握の結果

	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	わからない
・生活空間	20人	4人	0人	1人	5人
・食事	16人	5人	1人	1人	7人
・接遇	23人	5人	0人	0人	2人
・技術	15人	10人	1人	0人	4人
・重説等説明	16人	14人	0人	0人	0人
・感染対策	19人	7人	2人	0人	4人
・お手紙	15人	11人	2人	0人	2人
・家族との連携	13人	17人	0人	0人	0人

(3) 意見等への主な対応状況

・いただいたご意見のうち、要改善事項は施設内会議にて対策の検討、実施を行っている。 ・アンケート結果報については施設内に掲示するとともに、ご利用者（ご家族）に送付している。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

・認知症・虐待による緊急入所などコロナ禍でも必要な役割が果たせるように引き続き取り組んだ。 ・新型コロナに関しては、2度のクラスターが発生したが、BCPマニュアルに沿って迅速に対応を実施、最小限の感染者にとどめることが出来た。ご家族様等の面会方法についても段階的に制限を緩和し、各種レクリエーション等についても出来る限り実施した。 ・また、小川学区の夏祭りや運動会へのご入所者の参加を再開したり、下肢筋力の維持・向上に向けて外部の訪問マッサージの導入に取り組んだ。 ・障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についても差別的な取扱いにならないように意思決定支援などの情報も得ながら取り組んだ。 ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を併設しており地域の高齢や福祉に関する課題について取り組みをしやすい施設である。ショートステイを緊急的に利用していただくことも多く（短期入所生活介護緊急利用支援事業委託施設）、地域の高齢者福祉の拠点として活動できるように引き続き取り組んでいきたい。
--